

日本科学哲学会

第54回(2021年)大会

期日：11月27日(土)・28日(日)

オンライン開催

A会場、B会場、その他の諸会場は、それぞれZoomのミーティングとして設定されます。URLは別途通知します。今回は非会員の方の参加も受け付けることを予定しています(会員・非会員ともに大会参加費は徴収しません)。詳細は後ほどホームページでお知らせします。

11月27日(土)

研究発表(9:10-12:00)

《A会場》(9:10-12:00) 司会：A1, A2 古田智久(日本大学), A3, A4, A5 信原幸弘(東京大学)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| A1. 藤原 諒祐(東京大学・日本学術振興会) | 読心のモデル説と素朴心理学的モデルの制約 |
| A2. 佐藤 広大(慶應義塾大学) | 意図と意図的行為の関係 |
| A3. 三木那由他(大阪大学) | 譲歩的共同行為 |
| A4. 阿部 裕彦(慶應義塾大学) | 「あとづけの理由」からのプロセス信頼性主義批判 |
| A5. 太田 雅子(東洋大学) | 「知らなかった」は正当化および弁明になるか |

《B会場》(9:10-12:00) 司会：B1, B2, B3 戸田山和久(名古屋大学), B4, B5 松本俊吉(東海大学)

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| B1. 小川 亮(東京大学) | 信念の正当化のための基本的方法としての「最良の説明への推論」 |
| B2. 苗村弘太郎(京都大学) | 物語的説明はメカニズム的説明か—歴史学の場合 |
| B3. 横山 幹子(筑波大学) | ヨーランドの領域分析と存在論 |
| B4. 山森真衣子(東京大学) | 論理的多元主義は「なんでもあり」か |
| B5. 藤田 翔(名古屋大学) | 仮想粒子としての光子概念の必要性 |

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:15-13:15)

総会(石本賞授与式)(13:30-14:30)《A会場》

Symposium(14:45-16:15)《A会場》

Intercultural Philosophy on the Environment

Moderator: Murakami, Yuko (Rikkyo University)

Speaker: Kyle Michael James Shuttleworth (Rikkyo University),

Raphaël Pierrès (Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne)

Commentator: Kono, Tetsuya (Rikkyo University)

特別講演(16:30-18:00)《A会場》

「なぜ今、合成生物学なのか」

講演者：末次正幸(立教大学)

司会者：伊勢田哲治

※第一日終了後に談話用のミーティングルームをご用意する予定です。詳細は後程ご連絡します。

11月28日(日)

研究発表およびワークショップ(9:10-12:00)

《A会場：研究発表》(9:10-12:00)

- | | |
|---|-------------------------------|
| 研究発表(9:10-12:00) 司会：A6, A7 鈴木貴之(東京大学), A8, A9, A10 柏端達也(慶應義塾大学) | |
| A6. 松波 烈(京都大学) | ニーチェは現代の脳研究を見たのか—運動準備電位と自由意志— |
| A7. 太田 紘史(新潟大学)・飯島和樹(玉川大学) | リバタリアンの経験の範囲を探る：中間報告 |
| A8. 稲荷森輝一(北海道大学) | (非)両立論的直観こそが正しいと言えるのか |
| A9. 李 太喜(東京大学) | 選択の対照的説明の不在に訴える自由意志懐疑論の批判的検討 |
| A10. 本間宗一郎(北海道大学) | 考慮中の選択肢への信度の割り当てと自由意志 |

《B会場：研究発表およびワークショップ》(9:10-12:00)

研究発表(9:10-9:40) 司会：岡田光弘(慶應義塾大学)

- | | |
|---|-------------------------------|
| B6. 岡本賢吾(東京都立大学)・山崎紗紀子(東京都立大学)・三上温湯(東京都立大学) | もう一つのゲーデル埋め込みを考える—技術的詳細と哲学的興味 |
|---|-------------------------------|

ワークショップ(9:45-12:00)

I. 「科学的实在論論争の過去・現在・未来」

オーガナイザー：伊勢田哲治(京都大学)

提題者：伊勢田哲治(京都大学)、野内玲(信州大学)、大西勇喜謙(総合研究大学院大学)

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:15-13:15)

研究発表およびワークショップ(13:30-16:55)

《A会場：研究発表》(13:30-16:55)

- | | |
|--|---|
| 研究発表(13:30-16:55) 司会：A11, A12, A13 大塚淳(京都大学), A14, A15, A16 岡本賢吾(東京都立大学) | |
| A11. 野上 志学(一橋大学・日本学術振興会) | 知識の実践性から導かれる信度の閾値について |
| A12. 鈴木 聡(駒澤大学) | Logical Forms of Generics and Belief Contraction |
| A13. 新井 啓子(東京都立大学) | Reducibility を用いた強正規化定理の証明の哲学的考察 |
| A14. 明日 誠一(青山学院大学) | $x + 5 = 10$ ならば、 x は 5 でなければならない—条件文に現れる must から「必然性」の概念を整理する— |
| A15. 小関健太郎(慶應義塾大学) | 一般対象の直観主義理論と排中律 |
| A16. 仲宗根勝仁(理化学研究所)・和泉 悠(南山大学)・朱 喜哲(大阪大学) | 「普通の日本人」とは普通どういう意味なのか |

《B会場：ワークショップおよび研究発表》(13:30-16:55)

ワークショップ(13:30-15:45)

II. 「現代時間論のこれまでとこれから」

オーガナイザー：森田邦久(大阪大学)

提題者：小山虎(山口大学)、佐金武(大阪市立大学)、鈴木生郎(日本大学)

研究発表(15:50-16:55) 司会：山田友幸(北海道大学)

- | | |
|-----------------------------|---|
| B7. Leonardo Allegri(早稲田大学) | On the impossibility of a private language: The role of the community |
| B8. 鬼界 彰夫(筑波大学) | 数列に関するパラドックスと『哲学探究』固有の数学観 |